

全国エリアマネジメントネットワーク

第9回通常総会

(第9期：2024年7月1日～2025年6月30日)

日時：2024年8月30日

13時00分～14時00分

場所：TOKYO NODE

ZOOM ウェビナー

総会 次第

1. 開会
2. 定足数確認
3. 決議事項
 - 1) 第1号議案 第8期事業報告について
 - 2) 第2号議案 役員改選について
 - 3) 第3号議案 第9期事業計画について
4. その他
5. 閉会

<添付書類>

- 第8期事業報告
- 役員改選案
- 第9期事業計画

全国エリアマネジメントネットワーク
第 8 期事業報告書
(2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日)

(1) 活動の総括

第 8 期の活動は、近年の活動の主軸にしている実務者によるディスカッションを中心に進めていき、3 つの研究会・コミュニティ活動を展開していき、各研究会の議論の成果として合同シンポジウムを開催した。この合同シンポジウムにおいて、エリアマネジメントの新たな展開、必要な取組についての共有が図られた。

また、エリアマネジメント研究交流会は第 4 回目を開催し、着実にエリアマネジメントに関する研究や調査の報告の場としての認知度が向上してきていると共に、若手研究者、実務者の交流の場となった。

人材育成のプログラムでは、第 3 回目となるプレイスメイキング講座を大丸有地区を会場にリアルで開催し、多くの方が 2 日間に渡ってプレイスメイキングに関する学びと議論を行った。更に、人材育成プログラムの充実化について幹事会で議論を行い、新たな講座としてエリマネマインド養成講座のパイロット版を実施した。

また、第 5 期に立ち上げた若手ネットワーク（AMU35）も継続的に開催され、人材の循環も行われている。このような若手実務者のディスカッションの機会を充実させたことによって、エリアマネジメントを担う人材の育成、幅を広げることに寄与したと考える。

しかしながら当初計画していた、アンケート等のリサーチ関係やエリマネウェビナー、行政との対話の機会等の実施を今年度着手できなかったことから、この点は反省点として第 9 期にしっかりと引き継ぐこととする。

海外連携については、海外の連携組織と具体的な議論を進め、連携体制のベースを構築した。

また、幹事会の開催や幹事メンバーによるワーキング等の開催も進み、全国エリマネの運営や今後の組織のあり方についての議論を深めた。

会員数は正会員 118 名から第 8 期終了時点で 126 名と近年では最大の増加となった。

(2) 会員の状況

種別		第 7 期会員数 (2023.6.30 時点)	第 8 期会員数 (2024.6.30 時点)	増加数
正 会 員	エリアマネジメント団体（企業会員中心）	4	4	0
	エリアマネジメント団体（地域中心）	46	48	2
	法人	19	25	6
	個人	49	49	0
正会員小計		118	126	8
一般賛助会員		18	15	-3
オブザーバー		29	30	1
合計		165	171	6

※除名処分⇒エリマネ_2、個人_2、賛助_3

(3) 総会

年次総会を以下のとおり開催した。

日時	2023年9月4日(月) 13時~14時
場所	警固神社社務所ビル/ZOOMミーティングルーム
参加者数	74名
議決承認事項	第1号議案 第7期事業報告について 第2号議案 第8期事業計画について
その他	全国エリマネ若手実務者会議活動報告

(4) 幹事会

幹事会構成は幹事12名(内、会長1名、副会長3名)及び監査役2名である。

第8期の幹事会開催は5回行った。(対面とオンラインのハイブリッド開催)その他、人材育成プログラムの検討や全国エリマネの今後のあり方等、いくつかのワーキングを立ち上げ、それぞれ複数回の議論を行った。

(5) 個別事業活動

①情報交換・連携【交わる】

①-1: ネットワーキングセッション

会員間の情報交換や課題共有、アイデア交換のためのセッションを以下のとおり開催した。

a: 全国エリマネ×国交省

〈官民連携まちづくり DAYS 官民連携まちづくりフォーラム'23: 〓

「Well-being」の視点からエリアマネジメントを考えよう〉

日時	2023年11月6日(月) 14時30分~17時30分
場所	サンシャインシティコンファレンスルーム(Room6~Room9)/ZOOM ウェビナー
参加者数	会場約200名、オンライン約600名

※国土交通省都市局まちづくり推進課と合同開催

①-2: エリアマネジメントに関する情報発信(メール及びSNS)

メールニュース	34回配信
---------	-------

②パブリックレレーション【広める】

②-1: エリアマネジメントシンポジウム

エリアマネジメントについて、広く一般に普及することを目的に、各地のエリアマネジメント活動を紹介し、意見交換するシンポジウムを以下のとおり開催した。本シンポジウムは京都大学経営管理大学院と連携し開催した。

〈全国エリアマネジメントネットワーク エリアマネジメントシンポジウム 2023 in 福岡

: これからの“まちなか”における文化・クリエイティビティを考える〉

日時	2023年9月4日(月) 14時30分~17時30分
場所	警固神社社務所ビル/ZOOM ウェビナー
参加者数	160名(シンポジウムのみ集計/登壇・事務局関係者含む) 内訳⇒ 会場_55/オンライン:74(会員:54、一般:20)

③ エリアマネジメント活動の新たな展開の議論【深める】

③-1：エリアネコミュニティ（研究会）

会員の自発的なテーマ設定等による活動展開を行う研究会として、以下 3 つの研究会を立ち上げ活動を行っている。

<スマートシティ・DX 研究会>

参加団体	札幌駅前通まちづくり株式会社、大丸有まちづくり協議会、竹芝エリアマネジメント、渋谷エリアマネジメント、We Love 天神協議会、三井不動産株式会社、国交省都市局
活動経緯	3 回開催

<グリーン×エリアマネジメント研究会>

参加団体	日本橋浜町エリアマネジメント、大丸有まちづくり協議会、錦二丁目まちづくり協議会、森ビル株式会社、福岡孝則
活動経緯	1 回開催

<ナイトタイムエコノミー研究会>

参加団体	札幌駅前通まちづくり株式会社、大丸有エリアマネジメント協会、渋谷駅前エリアマネジメント、まちづくり福井株式会社、ミナミまち育てネットワーク、博多まちづくり推進協議会、We Love 天神協議会、森ビル、齋藤貴弘
活動経緯	1 回開催

③-2：研究会合同シンポジウム

3 つの研究会による議論内容の報告とその 3 つのテーマの可能性及びエリアマネジメントとして取り組む意義を紹介しながら、3 つのテーマを掛け合わせ、今後の都市及びそれを構成する各エリアの価値向上に向けて、エリアマネジメントが果たすべき役割やこれからのエリアマネジメントについて展望するシンポジウムを開催した。

<全国エリアネ研究会合同シンポジウム：エリアマネジメントの役割・領域の拡張>

日時	2024 年 4 月 8 日（月）14 時～18 時
場所	3×3Lab Future（東京都千代田区大手町 1 丁目 1-2 大手門タワー・ENEOSビル 1 階）
参加者数	40 名（別途、事務局関係 4 名）

③-3：エリアマネジメント研究交流会

エリアマネジメントに関する研究や実践を報告し研究者と実務者の対話、交流する場を開催。UDC イニシアチブと実行委員会を組成し開催。第 4 回は 15 本の発表があり、3×3Lab Future に発表者及び共同研究者、実行委員会メンバーが集まり、発表、配信を行った。6 つのアワードを選出し記念品を贈呈。

研究発表会終了後は、初となる交流会を同会場にて実施し、発表時には聞けなかった感想や情報交換を行った、

日時	2024年6月29日(土) 11時～18時
場所	3×3Lab Future (東京都千代田区大手町1丁目1-2 大手門タワー・ENEOSビル1階)
参加者数	103名(内、発表者:16名/発表者関係者:10名/Web視聴:54名/実行委員:11名/事務局:4名/学生サポート:8名)

④人材育成【支える】

エリアマネジメントに従事する実務者の育成、能力向上を目的に、エリアマネジメントに係わるいくつかのテーマを設定し、実務者同士のディスカッションやケーススタディを行う研修事業。今年度から人材育成の観点からも講座を実施することとし、これまでに行ってきた、【プレイスメイキング講座】に加え、より包括的にエリマネのマインドを理解する【エリマネマインド養成講座】を実施した。

④-1: エリマネ講習会①

プレイスメイキングをテーマにプレイスメイキング等、公共空間活用の概論や法制度の解説、場のデザインのケーススタディを3名の専門家を講師に開催した。

〈エリアマネジメント実務者研修#01「プレイスメイキング 講座」〉

日時	2024年7月11日(木)～12日(金)
場所	DMO 東京丸の内 (〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビル6階)
講師	上田孝明/鈴木美央/園田聡
参加者数	23名(別途、講師3名、事務局2名)

④-2: エリマネ講習会②

地域をどうしていくかを自ら考える力(リーダーシップ・地域とのコミュニケーション・コーディネート等)を学ぶことを目的に経験豊富なエリマネ実践者の4名をメンターとし、インプットとディスカッションによる講座を開催した。

今年度は「パイロット版」として実施し、ニーズや講座運営の課題を探ることも目的としている。

〈エリマネマインド養成講座 パイロット版〉

日時	2024年6月18日(火) 11:30 - 18:30
場所	DMO 東京丸の内 (〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビル6階)
講師	内川亜紀/岸本しおり/金城敦彦/名畑恵/芳村直孝/札幌市都心まちづくり推進室
参加者数	27名(別途、登壇者6名、事務局2名)

④-3: 全国エリマネ若手実務者会議「AMU35」

〈メンバーミーティング vol.9/話題提供: 安田不動産株式会社/一般社団法人日本橋エリアマネジメント〉

日時	2023年10月3日
場所	ZOOM ミーティングルーム
参加者数	16名

〈メンバーミーティング vol.10/話題提供：東京建物株式会社〉

日時	2024年2月2日
場所	ZOOMミーティングルーム
参加者数	14名

〈メンバーミーティング vol.11/話題提供：烏丸通まちづくり協議会〉

日時	2024年5月23日
場所	ZOOMミーティングルーム
参加者数	19名

〈メンバーミーティング vol.12/若手エリマネ実務者が抱える悩みなどについてのディスカッション〉

日時	2024年8月7日
場所	ZOOMミーティングルーム

〈AMU35 フィールドワーク vol.3〉

日時	2024年8月1日（木）～8月2日（金）
場所	視察先：①博多まちづくり推進協議会（博多駅周辺エリア） ②We Love 天神協議会（天神エリア） ③八幡東田まちづくり連絡協議会（東田エリア） ④日鉄興和不動産株式会社（高見三条エリア） ⑤日本製鉄株式会社九州製鉄所（九州製鉄所八幡地区・工場見学、 および、官営八幡製鉄所日本事務所・世界遺産見学
参加者数	45名

※年度を超えて開催した事業（本年7月開催事業）について、これらは年度内に企画、検討を行い、第8期事業として実施したものである。日程調整の結果、実施日が超えてしまったが、第8期事業として計上した。

全国エリアマネジメントネットワーク
役員体制

役員（任期：2024年8月30日～2026年総会終結時）

1. 会長（1名）

出口 敦氏 【正会員（個人） 東京大学】

2. 副会長（3名）

札幌駅前通まちづくり株式会社 【正会員（エリアマネジメント団体）】

内川 亜紀氏

一般社団法人大阪梅田エリアマネジメント 【正会員（エリアマネジメント団体）】

大谷 文人氏

後藤 太一氏 【正会員（個人） リージョンワークス合同会社】

3. 幹事（10名）

株式会社キャッセン大船渡 【正会員（エリアマネジメント団体）】

臂 徹氏

秋葉原タウンマネジメント株式会社 【正会員（エリアマネジメント団体）】

土方 さやか氏

一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会 【正会員（エリアマネジメント団体）】

大原 大志氏

錦二丁目まちづくり協議会 【正会員（エリアマネジメント団体）】

名畑 恵氏

ミナミまち育てネットワーク 【正会員（エリアマネジメント団体）】

入江 浩介氏

広島駅周辺地区まちづくり協議会 【正会員（エリアマネジメント団体）】

吉田 実氏

博多まちづくり推進協議会 【正会員（エリアマネジメント団体）】

内野 豊臣氏

森ビル株式会社 【正会員（法人）】

中 裕樹氏

嘉名 光市氏 【正会員（個人） 大阪公立大学】

宋 俊煥氏 【正会員（個人） 山口大学】

4. 監査役（2名）

丹羽 由佳理氏 【正会員（個人） 東京都市大学】

園田 康貴氏 【正会員（個人） 一般財団法人森記念財団】

参考 事務局：

NPO 法人大丸有エリアマネジメント協会 / 株式会社フロントヤード / 一般財団法人森記念財団

全国エリアマネジメントネットワーク
第 9 期事業計画・予算
(2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日)

1. ネットワークの活動方針

○エリアマネジメント団体のネットワーク・コミュニティの醸成【交わる】

全国のエリアマネジメント団体の交流の場を提供することによって、エリアマネジメントに係る人々のコミュニティを醸成すると共に、交わることによる学びあいを進め、今後のエリアマネジメント活動の活性化を支える。

○エリアマネジメント活動の深化・行政との対話・連携の場の構築【深める】

エリアマネジメント活動の更なる深化をさせていくために、調査研究活動を行うと共に、行政との対話の場を設け、各種活動を進めるにあたって必要となる官民連携を促進させる。

○エリアマネジメントの社会的な認知向上【広める】

エリアマネジメントと言う活動やそれを担う団体・人々を社会に発信し、その活動の意義や効果について、認識を高めて頂く活動を進める。

○エリアマネジメントに関する各種情報提供やエリアマネジメント団体の強化【支える】

エリアマネジメント活動の展開を図っていくためのノウハウの蓄積やエリアマネジメント団体の運営等に関する情報整理等を行い、活動に必要な団体運営の強化につながる活動を進める。

○エリアマネジメントのプロフェッショナルとしての専門性・実務能力向上の機会【高める】

エリアマネジメントの実践者がエリアの様々な活動を牽引していく上での人材育成・キャパシティビルディングにつながる活動を進めます。

2. 第 9 期の主な活動内容

【エリアマネジメントの振り返りと高め合い】

○エリアマネジメントの振り返りとこれからの役割の再考と発信

エリアマネジメントの取組が 20 年を超え、各地で展開すると共に、活動も成熟化してきた中で、改めてエリアマネジメントの意味、意義を考え、これまでを整理すると共に、次の 10 年、20 年に向けた展望を議論し、エリアマネジメントの役割を改めて全国エリマネ会員と共有化し、発信していく活動を行う。

○中間支援組織としての情報蓄積及びエリマネに関わる人・団体の高め合い

中間支援組織として、エリアマネジメント活動の充実を支えるために、リサーチや各種情報収集に関する取組を充実化していくと共に、研究者の育成も進める。

更に、エリアマネジメントに関わる人や団体の育成、充実化を目指して、各種講座やアワードの開催等を通じて、学び合い、高め合いの機会を作る活動を進める。

○エリアマネジメントに関する行政との対話の充実

特にこの 10 年の間にエリアマネジメントに関する様々な制度的対応が行われてきている。これらの制度について

その使い勝手や足りない点等をエリアマネジメント団体と行政の実務者同士で議論しながら、課題や提案を整理していく活動を進める。

○研究会・コミュニティ活動の推進を通じたエリアマネジメントの実務者育成

スマートシティやグリーンインフラ、ナイトタイムエコノミー等、エリアマネジメントが今後取り組んで行くべき活動について研究会等において議論を進めている。また、AMU35 の活動も充実してきている。このような各種活動に会員団体の実務者が積極的に参加して頂くことを通じてエリアマネジメントの実務者育成、更なるネットワーク構築を進めていく。

○海外情報の収集やアジア都市との連携活動の展開（エリアマネジメントの海外への展開）

アメリカの IDA（International Downtown Association）との連携を引き続き推進し、海外の様々な国で展開されている BID 等（イングランド ATCM : Association of Town and City Management 等）の情報を収集するとともに、シンガポール（URA : Urban Redevelopment Authority）や韓国を中心としたアジアとの連携を強化し、共同でのシンポジウム開催等を検討する。

○全国エリアマネジメントネットワークの組織体制の検討

全国エリアマネジメントネットワークもその活動が 10 年に近づいてきている。この間、会員数の増加や活動の展開、各種団体との連携が進んできている。一方で事務局機能の脆弱さや任意団体としてのリスクマネジメントに関する課題も出てきている。その為、全国エリアマネジメントネットワークの法人化も含め、今後の組織体制の検討を進める。

3. 事業内容

①情報交換・連携【交わる】

<ネットワーク会員間の情報交換・議論>

○ニュースレター発行

○会員間でのオンライン等を通じたコミュニケーションツール・機会の検討

→会員間で日常的に交流、情報交換が出来るような環境整備についての議論を進める

<海外連携>

○IDA 等海外のネットワーク団体や BID との情報交換

→IDA の総会参加等を通じて、海外の団体と情報交換を行い、日本のエリマネに必要な知見を得る

○アジアのエリアマネジメントネットワーク活動

→情報共有・発信、人材育成、学びの場の検討

○海外向け情報発信の検討・コンテンツ作成等

→英語版の日本のエリマネ紹介コンテンツの作成

②パブリックリレーション【広める】

○シンポジウム開催（2 回程度）

→8 月の総会の他、エリアマネジメントの振り返りに関するシンポジウムを開催

○広報の充実

→イベントレポートの作成と配信等、英語版 WEB 対応等

③ エリアマネジメント活動の新たな展開の議論【深める】

○ エリアマネジメント研究交流会

→ エリアマネジメントに関する研究や実践内容を報告する交流会の実施と、発表内容を梗概集として発信（UDC イニシアチブと実行委員会を組成）

○ エリアマネジメント政策対話

→ エリアマネジメントの推進に向けた必要な政策、制度について、これまでの政策、制度の振り返りと今後の展望について、国、自治体とエリマネ団体での議論の場を 2 回実施（これまでの官民連携まちづくり DAY に変わるものとして開催）

○ エリマネコミュニティ（研究会）

→ エリマネに関する特定の関心領域について、エリマネ団体の実務者によるコミュニティを組織し、議論、活動を行う。有志によって立ち上げ、有志メンバーによる自立的な運営とし、活動支援金を拠出する

→ 「スマートシティ・DX 研究会」、「グリーン×エリアマネジメント研究会」、「ナイトタイムエコノミー研究会」は継続的に活動。今期は地方都市のエリアマネジメントコミュニティの立ち上げを目指す。

→ また、研究会での議論の公開、普及活動も関係団体等と連携しながら進めていく。

○ エリマネウェビナー

→ オンラインによって、エリアマネジメント活動に資するインプットを得る場を開催。各地のエリアマネジメントの取組みの他、エリアマネジメント活動を取り巻く社会経済の状況など、多角的に学べるプログラムを検討

→ 各地のエリマネの取組みを学ぶ通常のウェビナーの他、各地のエリマネ事務局の日々の取組みや悩みを共有する事務局トーク、エリマネを支える様々な技術やサービスの動向を学ぶランチタイムラーニングといった関心領域の異なる複数のプログラムを展開

④ エリマネ関連リサーチ【支える】

○ エリアマネジメントのこれまでのリサーチ

→ エリアマネジメントの約 20 年の動きを俯瞰して整理（年表作成）し、これまでのエリアマネジメントの役割や領域の広がり等を理解すると共に、今後の展望を議論する（各エリマネ団体からの情報収集やシンポジウム等の開催）

○ エリアマネジメントアンケート

→ エリアマネジメント団体とその活動の実態を把握する定点調査を実施。その他、特定のテーマを設定した追加アンケートも実施。

⑤ ノウハウ蓄積・人材育成・活動の顕彰【高める】

○ 全国エリマネ若手実務者会議「AMU35」

→ エリマネ団体の若手実務者の情報共有や学びの場としての活動を展開

○ エリマネアワード

→ 各エリマネ団体が行っているエリアマネジメントの事業を募集し、エリマネの実務者で投票し合うアワードを開催。今期は初回として、アワードの内容、項目を議論した上で、募集を開始。実務者を中心に、中堅から若手で選考委員会を組成

○ エリマネカレッジ

→ 昨年度までの実践、試行をベースに、エリアマネジメントについて様々な観点から学べる場を開催。以下のような内容の講座を実施。

a. エリマネマインド養成講座

- ・エリマネを実践していくために必要なマインド、スキルセットを学ぶプログラム
- ・経験豊富なエリマネ実践者がメンター的にインプットと相談、ディスカッションを組み合わせた構成

b. エリマネ実務者研修講座

- ・これまでに行ってきた、【プレイスメイキング講座】に加え、エリマネの実務に必要なテーマを設定し講座を開催。また、エリマネに関する制度や事例について体系的に学べるプログラムの実施を検討

c. エリマネ実務者合宿

- ・年間にいくつかの地区を選んで、地区の人と全国から数名を派遣して現場でのディスカッションにより、エリマネのプランニングや事業設計を学ぶプログラム
- ・2~3日の合宿形式で構成

⑥ 全国エリアマネジメントネットワークの運営体制検討

○ 次期体制等検討ワーキング

→これまでの活動を踏まえた、中間支援団体としての今後の全国エリマネのあり方及び事務局体制や活動の在り方について検討。タスクフォースを作り、議論を進める。（組織体制・法人化／収益構造／新たな活動（会員メリット）／海外連携等々）

○ 幹事会運営

→幹事会での議論の活発化や幹事の役割分担を明確にして各種事業推進を図る。

(2) 部会活動

部会は会員の発意で、参加者負担によって体制を作り、活動するもの。引き続き会員の発議を募集する。